

議題(2)

令和4年度研修開始の
専門研修プログラムの確認

国から示された【確認事項①～④】

① 内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、麻酔科、救急科は、複数の基幹施設が置かれているか。



② キャリア形成プログラムの運用において、診療科別の専門研修プログラム定員配置が適切なものか。



③ 各研修プログラムは、県内の医師確保対策や偏在対策(医師少数地域への配慮)に資するものになっているか。
・ 診療科別の研修プログラムの定員配置が、医師少数区域などに配慮されていること。
・ 各研修プログラムの連携施設が、各都道府県の偏在対策に資するものであること。



④ 各研修プログラムが地域枠の従事要件に配慮されたものとなっているか。



県による確認結果

○ 確認方法: 県調査及び国提供データ
資料4 3ページ一覧表のとおり、複数の基幹施設が置かれていることを確認。

○ 確認方法: 県調査及び国提供データ
資料4 8ページに記載のとおり、地域枠医師を考慮した定員配置が適切であることを確認。

○ 確認方法: 県調査及び国提供データ
資料4 9ページに記載のとおり、各診療科別のプログラム毎の定員配置は、医師少数スポット等に概ね配慮されたものとなっている。
・ 国提供データに一部誤りがあったため、県調査データや機構への聞き取り等により確認

○ 確認方法: 県調査
資料4 10ページに記載のとおり、ほぼすべての研修プログラムで従事要件に配慮された研修プログラムとなっていることを確認。

総合的評価

全体として、
上記①②の条件を満たし、③④についても概ね整合性が図られており、地域の医療提供体制への影響は特にないと考えられる。

令和4年度研修開始の専門研修プログラム一覧

議題(2)

| | プログラム | | 募集定員(希望数) | | シーリング数 (連携PG除く) |
|------------|--------|------|-----------|------|--------------------|
| | プログラム数 | 対前年比 | 募集定員(希望数) | 対前年比 | |
| 内科 | 7 | +1 | 66 人 | +3 | |
| 小児科 | 3 | | 13 人 | | |
| 精神科 | 4 | | 29 人 | | |
| 外科 | 3 | | 22 人 | | |
| 整形外科 | 4 | +1 | 21 人 | +3 | |
| 産婦人科 | 2 | | 12 人 | | |
| 麻酔科 | 3 | +1 | 18 人 | +4 | |
| 救急科 | 3 | | 10 人 | +1 | |
| 皮膚科 | 3 | | 9 人 | | |
| 眼科 | 1 | | 4 人 | | |
| 耳鼻咽喉科 | 1 | | 7 人 | | |
| 泌尿器科 | 1 | | 5 人 | | |
| 脳神経外科 | 1 | | 10 人 | | |
| 放射線科 | 3 | +1 | 12 人 | +3 | |
| 病理 | 1 | | 3 人 | | |
| 臨床検査 | 2 | | 3 人 | +1 | |
| 形成外科 | 2 | | 4 人 | | |
| リハビリテーション科 | 1 | | 4 人 | +2 | |
| 総合診療科 | 6 | | 22 人 | +2 | |
| 合計 | 51 | +4 | 274 人 | +19 | 0 |

令和4年度研修開始の基幹施設・領域別のプログラム申請状況【確認事項①】

議題(2)

| 領域 | 内科 | 小児科 | 精神科 | 外科 | 整形外科 | 産婦人科 | 麻酔科 | 救急科 | 皮膚科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科 | 脳神経外科 | 放射線科 | 病理 | 臨床検査 | 形成外科 | リハビリ科 | 総合診療科 | 合計 | |
|--------------|----|-----|-----|----|------|------|-----|-----|-----|----|-------|------|-------|------|----|------|------|-------|-------|----|----|
| 奈良県立医科大学附属病院 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 |
| 奈良県総合医療センター | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 市立奈良病院 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | ○ | | | ○ | 5 |
| 天理よろづ相談所病院 | ○ | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | | ○新 | | ○ | | | | ○ | 7 |
| 近畿大学奈良病院 | ○ | | | | ○新 | | ○新 | | ○ | | | | | ○ | | | | | | | 5 |
| 南奈良総合医療センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | 1 |
| 土庫病院 | ○新 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | 2 |
| 吉田病院 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 大福診療所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | 1 |
| やまと精神医療センター | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 西和医療センター | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 五条山病院 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 白庭病院 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 7 | 3 | 4 | 3 | 4 | 2 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 1 | 6 | 51 | |

- 新たに4プログラム(詳細は次ページ)が追加され、13医療機関51プログラムとなる。(R3 13医療機関47プログラム)
- ・ 天理よろづ相談所病院 放射線科(※県内3つ目)
 - ・ 近畿大学奈良病院 整形外科(※県内4つ目)
 - ・ 土庫病院 麻酔科(※県内3つ目)
内科(※県内7つ目)

国から示された【確認事項①】

内科、小児科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、麻酔科、救急科は、複数の基幹施設が置かれているか。

県による確認結果

表中赤囲いのとおり、複数の基幹施設のプログラムが置かれていることを確認

3

研修プログラムの変更状況① 新規プログラム

議題(2)

| 領域 | 基幹施設名 | 統括責任者 | 募集希望数 | 研修年限 | 連携施設施設名 | 研修期間 | 県内施設 |
|------|------------|-------|-------|------|------------------|--------|------|
| 放射線科 | 天理よろづ相談所病院 | 久保 武 | 3人 | 3年 | 日本赤十字社和歌山医療センター | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 大阪赤十字病院 | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 岸和田市民病院 | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 北野病院 | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 京都市立病院 | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 京都医療センター | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 神戸市立医療センター中央市民病院 | 3~12ヶ月 | |
| | | | | | 県立尼崎総合医療センター | 3~12ヶ月 | |
| 整形外科 | 近畿大学奈良病院 | 戸川 大輔 | 3人 | 4年 | 近畿大学病院 | 1年 | |
| | | | | | 岸和田市民病院 | 1年 | |
| | | | | | さくら会病院 | 1年 | |
| | | | | | 育和会記念病院 | 1年 | |
| | | | | | 檉本病院 | 1年 | |
| | | | | | 阪南市民病院 | 1年 | |
| | | | | | PL病院 | 1年 | |
| 麻酔科 | 近畿大学奈良病院 | 杉浦 順子 | 4人 | 4年 | 近畿大学病院 | 42ヶ月 | |
| 内科 | 土庫病院 | 山西 行造 | 3人 | 3年 | 奈良県立医科大学附属病院 | 1年 | ○ |
| | | | | | 耳原総合病院 | 1年 | |
| | | | | | 京都民医連中央病院 | 1年 | |
| | | | | | おかたに病院 | 6ヶ月 | ○ |
| | | | | | 吉田病院 | 6ヶ月 | ○ |

研修プログラムの変更状況② 連携施設の追加・削除

議題(2)

赤字施設名は県内施設

| 内 科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
|------|------------------|-------|---|---|------|
| | 奈良県立医科大学 附属病院 | 追加 | 奈良県総合リハビリテーションセンター 堺市立総合医療センター 大阪急性期・総合医療センター | 研修プログラムの充実のため | ○ |
| | 奈良県総合医療センター | 追加 | 大阪府済生会吹田病院 市立東大阪医療センター 大阪市立総合医療センター 八尾市立病院 | 研修プログラムの充実のため (大阪府のシーリングに係る連携依頼があったため) | |
| | 市立奈良病院 | 追加 | 丹後中央病院 大阪市立総合医療センター 京都桂病院 大阪府済生会野江病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| | 近畿大学奈良病院 | 追加 | 大阪赤十字病院 関西医科大学附属病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| | 奈良県西和医療センター | 追加 | 大阪医科薬科大学医学部附属病院 大阪南医療センター 八尾市立病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| 外 科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県総合医療センター | 追加 | 南奈良総合医療センター | 研修プログラムの充実のため | ○ |
| | 天理よろづ相談所病院 | 追加 | 枚方公済病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| 産婦人科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学 附属病院 | 削除 | SACRALレディースクリニック JCHO星ヶ丘医療センター | 当施設が生殖医療をとりやめたため 連携施設としての基準を満たさなくなったため | ○ |
| | | 追加 | 奈良県西和医療センター ミスクリニックメイワン | 研修プログラムの充実のため(生殖医療) | ○ |
| | 奈良県総合医療センター | 削除 | 好川産婦人科クリニック | 当施設が体外受精をとりやめたため | ○ |
| | | 追加 | ASKAレディースクリニック | 研修プログラムの充実のため(体外受精) | ○ |
| 麻酔科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 追加 | 大手前病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| 救急科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県総合医療センター | 追加 | 浦添総合病院 | 研修プログラムの充実のため | |

研修プログラムの変更状況② 連携施設の追加・削除

議題(2)

| 皮膚科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
|-------|--------------|-------|--------------------------------|--|------|
| | 天理よろづ相談所病院 | 追加 | 宇治徳洲会病院 | 研修プログラムの充実のため(宇治市での地域医療) | |
| | | 削除 | 宇治武田病院 | 指導医の確保が困難になったため | |
| | 近畿大学奈良病院 | 追加 | 生駒市立病院 | 研修プログラムの充実のため | ○ |
| 耳鼻咽喉科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 追加 | 隈病院 関西メディカルクリニック | 研修プログラムの充実のため (大阪大学が連携施設になり、大阪大学の関連施設でも研修が可能になったため) | |
| 脳神経外科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 追加 | 香芝生喜病院 | 研修プログラムの充実のため | ○ |
| | | 削除 | ベルランド総合病院 | 指導医が退職したため | |
| リハビリ科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 追加 | 初台リハビリテーション病院 鶴飼リハビリテーション病院 | 研修プログラムの充実のため | |
| 総合診療科 | 基幹施設名 | 追加/削除 | 追加/削除する連携施設 | 理由 | 県内施設 |
| | 奈良県立医科大学附属病院 | 追加 | 東通村診療所 | 研修プログラムの充実のため | |
| | 天理よろづ相談所病院 | 追加 | 湯沢町保健医療センター | 研修プログラムの充実のため | |
| | 南奈良総合医療センター | 追加 | 奈良県総合医療センター | 研修プログラムの充実のため | ○ |

【県外の連携施設を追加することに関して、県内医師の流出への配慮状況や主な意見】

○相互連携を行う場合は、相手方からも専攻医を受け入れる。(奈良医大内科、奈良医大麻酔科、天理よろづ内科)

○県外施設での研修期間が長期間にならないようローテートを組んでいる。

(総合医療センター救急科、西和医療センター内科)

○県外へき地診療所で学んだノウハウ・知識・技術を奈良へ還元してもらう予定。(奈良医大 総合診療科)

研修プログラムの変更状況③ 募集定員(希望数)の変更

議題(2)

| 領域 | 基幹施設名 | 変更前 | 変更後 | 増減 |
|-------|--------------|-----|-----|----|
| 救急科 | 奈良県立医科大学附属病院 | 4 | 5 | +1 |
| 臨床検査科 | 奈良県立医科大学附属病院 | 1 | 2 | +1 |
| リハビリ科 | 奈良県立医科大学附属病院 | 2 | 4 | +2 |
| 総合診療科 | 南奈良総合医療センター | 4 | 6 | +2 |

都道府県によるプログラムの確認【確認事項②】

議題(2)

国から示された【確認事項②】

キャリア形成プログラムの運用において、診療科別プログラムの定員配置が適切なものか。

確認の考え方(チェック基準)

- A キャリア形成プログラムが適用される地域枠医師(本県では、奈良県立医科大学及び近畿大学に設置された緊急医師確保枠医師)が、選択可能な基本領域について、プログラムが整備されているか。
- B 上記の基本領域の過去3年の採用数は、定員内に収まっているか。

県による確認結果

| 地域枠医師が選択可能な基本領域 | プログラム数(R4) | プログラム定員数(R4) | 採用数(地域枠医師) | | |
|-----------------|------------|--------------|------------|--------|--------|
| | | | R1研修開始 | R2研修開始 | R3研修開始 |
| 内科(※総合内科分野) | 7 | 66 | 4 | 4 | 4 |
| 小児科 | 3 | 13 | 2 | 2 | 2 |
| 精神科(※児童精神分野) | 4 | 29 | 3 | 1 | 0 |
| 外科 | 3 | 22 | - | 0 | 1 |
| 産婦人科 | 2 | 12 | 1 | 1 | 1 |
| 麻酔科 | 3 | 18 | 1 | 1 | 1 |
| 救急科 | 3 | 10 | 2 | 1 | 1 |
| 脳神経外科 | 1 | 10 | - | - | 0 |
| 総合診療科 | 6 | 22 | 2 | 2 | 0 |
| 合計 | 32 | 202 | 15 | 12 | 10 |

※()は、本県の地域枠制度において選択できるコース

- A 地域枠医師が選択可能な基本領域のすべてについてプログラムが整備されていることを確認。
- B 地域枠医師の採用数は定員内に収まっており、適切に定員設定されていることを確認。

国から示された【確認事項③】

各研修プログラムが県内の医師確保対策や偏在対策(医師少数地域への配慮)に資するものとなっているか。

確認の考え方(チェック基準)

A 連携施設が、医師少数スポットその他医療資源が少ない地域(※)に設置されているプログラムはあるか。

(※)医師少数スポット・その他医療資源が少ない地域について

○「医師少数スポット」は、奈良県医師確保計画(R2.4.1施行)に以下のように定めている。

(東和保健医療圏)・宇陀市菟田野・室生地域・山添村・曾爾村・御杖村
 (南和保健医療圏)・五條市・吉野町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村
 ・十津川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村

○「その他医療資源が少ない地域」は、へき地で医療提供の役割を担っている病院があることを考慮し、大淀町、宇陀市全域とする。

県による確認結果

| 配置あり (配置プログラム数/プログラム総数) | 配置なし (配置プログラム数/プログラム総数) |
|---|--|
| 内科(3/7)、小児科(1/3)、外科(2/3)、泌尿器科(1/1)、 病理(1/1)、救急科(3/3)、形成外科(1/2)、眼科(1/1)、 整形外科(2/4)、放射線科(1/3)、脳神経外科(1/1)、 麻酔科(2/3)、皮膚科(1/3)、総合診療科(2/6) | 産婦人科(0/2)、耳鼻咽喉科(0/1)、臨床検査(0/2)、 リハビリテーション科(0/1)、精神科(0/4)、 |
| 【配置先】 へき地診療所、五條病院、吉野病院、辻村病院 南奈良総合医療センター、宇陀市立病院 | |

A 全51プログラムのうち22プログラムが、医師少数スポットその他医療資源が少ない地域に連携施設を設置していることを確認。

国から示された【確認事項④】

各研修プログラムが地域枠の従事要件に配慮されたものとなっているか。

確認の考え方(チェック基準)

A

地域枠医師への配慮として、下記の対応をおこなっているかのアンケート調査を実施。

対象：奈良県地域枠医師(本県では、奈良県立医科大学及び近畿大学に設置された緊急医師確保枠医師)が選択可能な基本領域の
 専門研修プログラムの統括責任者

→ (内科・小児科・精神科・外科・産婦人科・麻酔科・救急科・脳神経外科・総合診療科)

Q. 地域枠医師のような従事要件を有する地域医療従事者への配慮としてどのような対策をとっていますか。

- (1) 地域枠医師等に配慮した研修プログラムを作成している、
- (2) 研修カリキュラム制での受入やプログラム制からカリキュラム制への移行を認めている。
- (3) 現行の研修プログラムのままで、柔軟に対応している。
- (4) 対策を講じる予定はなし。

県による確認結果

| | アンケート項目 | 回答プログラム数(複数回答可) | 配慮状況 |
|-----|--|-------------------|------|
| (1) | 地域枠医師等に配慮した研修プログラムを作成している。 | 32プログラムのうち10プログラム | ○ |
| (2) | 研修カリキュラム制での受入やプログラム制からカリキュラム制への移行を認めている。 | 32プログラムのうち4プログラム | |
| (3) | 現行の研修プログラムのままで、柔軟に対応している。 | 32プログラムのうち21プログラム | |
| (4) | 対策を講じる予定はなし。 | 32プログラムのうち0プログラム | × |

A

地域枠医師が選択可能な32プログラムすべてが、地域枠医師へ配慮したものとなっていることを確認。